

【放デイ】事業者向け	事業所名	放課後等デイサービス
	配布数	5枚(回収率 100%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1		利用人数や車椅子によっては、狭いところがある。 活動内容によっては手狭だと感じる。	様々な活動や方法を、手狭さを感じないように工夫する。
	2 職員の配置数は適切であるか	5			基準通り配置されている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			スロープが設置されている。 段差はなく、車椅子利用もできる。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1		個別支援計画やモニタリングなどを用いて振り返り、会議を行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2		周知徹底できているか不明。 アンケート内容をみながら、ニーズの把握をしつつ業務改善を行っている。	周知方法の改善に努める。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		定期的に研修(法人内・外)に参加している。 必要な研修から、職員に合わせて興味のある研修などに参加させてくれる。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			面談や送迎時にニーズを聞いて作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5				
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			ミーティングで話し合いを行っている。 会議の中でも話し合っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			月ごとに活動内容を変えている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1		各利用者に合わせ活動予定を設定し、実施している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			パート職員の参加が難しいが、ノートをつくり共有している。 申し送りや共有すべき情報の確認をしている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3		2	翌日のミーティングで共有している。 支援終了後に時間を作る事は出来ないが、次の日のミーティングで共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			実施記録やモニタリングを確認しながら、改善点を考えている。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			1・2か月に一度モニタリングを行っている。決められた期間を守り定期的にモニタリングしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	1			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1		時間帯によっては児発管のみ参加。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	2		学校ではなく保護者の方が連絡調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	1	1	主治医との連携体制はしていないが、家族様と共有する事はできている。必要な情報は保護者を經由しながら連絡を行っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4		1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2		情報共有の話があれば行う。同法人へはおこなっているが、他法人へは問われれば答える程度。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	3	公園や図書館などに外出はしているが、一緒に活動する機会はない。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	1	スケジュール次第になっている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			送迎時や面談の際に共有している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	2	行っていない。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時や変更があった場合は説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		何に悩んでいるのか整理し、紹介できる施設や必要な支援をお知らせしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	4	保護者同士の連携は支援していない。	保護者間でのつながりは、ほぼ学校で構築されている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			苦情があった際には情報を共有を行い、改善に向けて対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		会報は発行していないが、インスタ等で発信している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	5				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			利用者の伝えやすい方法を選択しながら、出来る事をやってもらっている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5			年に一回事業所でマルシェを行っている。年一回のずいこうマルシェでは、地域の方にもお声掛けしている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	保護者へは行っていない。 避難訓練など定期的に行い、その都度改善している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		定期的に行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5		個別支援計画に記述し、了解を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	対応ができる調理師がいない。 食育などではご家族様に確認を行いながらアレルギーに配慮してみんなで作って食べられるものを考え提供している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		共有しているが、事案があっても提出が少ないのが課題。	些細なことにも気付ける事業所カラーを作っていく。